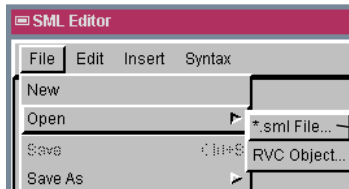
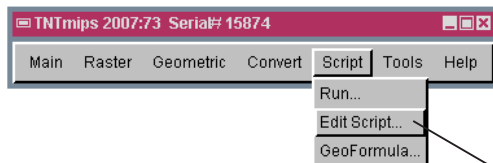


景観ファイルでスクリプトを使う

ご存知でしたか?... TNTsim3D の景観ファイルで地理空間スクリプト (SML) を使うことができます。

景観ファイルでスクリプトを使うことで...

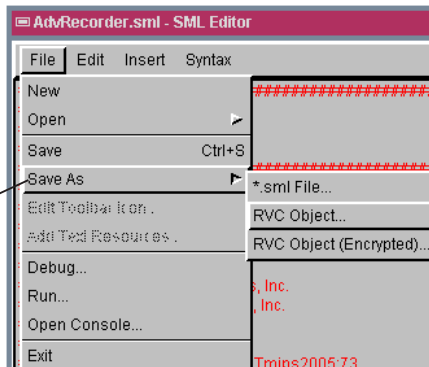
- TNTsim3D に対してカスタムの効果と機能を付加します。
- ユーザー仕様の地理空間スクリプトを作成したり、マイクロイメージ社によるサンプル SML スクリプトを利用できます。
- TNTsim3D のメニューで選択 / 選択解除すると、スクリプトを開始 / 停止できます。



ここを選んで〈空間操作言語 (SML)(SML Editor)〉ウィンドウを開きます。

ここを選んでマイクロイメージ社が提供するスクリプトを開きます。

ここを選んで、TNTsim3D の景観ファイルにスクリプトを保存します。



TNTsim3D で景観ファイルを開くと、この [スクリプト (Script)] メニューがアクティブになり、そのファイルに保存したスクリプトが全てリスト表示されます。

[スクリプト] メニューから任意のスクリプトを選択することでスクリプトが始まり、ダイアログがあれば開きます。



フライトレコーダーと平滑化処理 (Flight Recorder and Smoothing Process) スクリプトのダイアログ

景観ファイルでスクリプトを使う方法

- マイクロイメージ社のウェブサイト (<http://www.microimages.com/sml/>)、または TNT 製品の CD の \Scripts\ScriptLayer フォルダから SML スクリプトをダウンロードします。
- メニューバーから [スクリプト] > [スクリプトの編集 (Edit Script)] を選択して 〈空間操作言語 (SML)〉 ウィンドウを開きます。
- [ファイル (File)] メニューから [開く (Open)] > [*sml ファイル (*.sml File)] を選択し、プロンプトに従って、ダウンロードやコピーしたスクリプトを選択します。
- [ファイル] メニューから [別名保存 (Save As)] > [RVC オブジェクト (RVC Object)] を選択し、プロンプトに従って景観ファイルの中に保存します。
- ステップ 1 ~ 4 を繰り返して、景観ファイルの中に複数のスクリプトをコピーします。
- TNTsim3D で景観ファイルを開きます。
- [スクリプト] メニューからスクリプトを選んで開始します。停止する時は選択を解除します。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください:

SML を使った TNTsim3D のカスタマイズ
(Customizing TNTsim3D with SML)

